

本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。



連続間仕切り折戸 111RD



扉厚	28～35mm
扉質量	20kg以下（扉1枚当たり）※
製品仕様	2～6枚連続間仕切り折戸仕様（天井付け）

※扉サイズは扉質量を優先して決めてください。

部屋の間仕切りやウォークインクローゼットに最適な、中量用折戸金物。

■特長

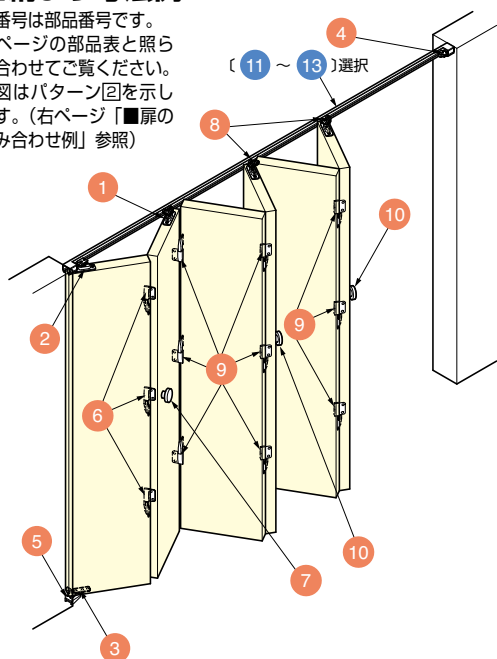
- 上ローラー、上下ピボット、ヒンジとも、脱着が容易です。
- オプションで下レール、下ガイド仕様が可能です。

■注意

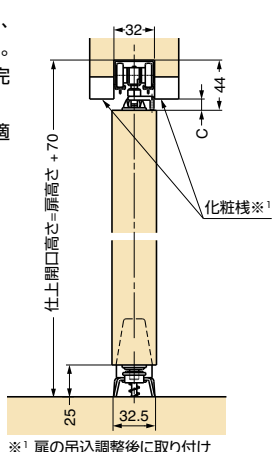
- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール⑪～⑬の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 間口の大きさが2400mmを越える場合は、1枚の扉幅は450mm以下にしてください。これ以上の場合は荷重の保証ができません。
- 本製品はアコーディオンドアではありません。丁寧に開閉を行わないと故障の原因となります。
- 開口寸法に合わせて上レール⑪～⑬を必要な長さに切断します。切粉などが上レール内に残らないように除去してください。

■納まり寸法例

丸番号は部品番号です。右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。本図はパターン図を示します。（右ページ「■扉の組み合わせ例」参照）



- 右図の化粧棧を先に取り付けると、扉の吊り込みはできなくなります。化粧棧は、必ず扉の吊り込み調整完了後に取り付けてください。
- 扉とのアキ寸法Cは現物合せにて適宜とってください。



※¹ 扉の吊り調整後に取り付け

■上ピボット②、上ローラー①⑧、上ストッパー④の組み込み

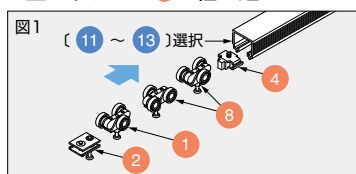


図1のように上レール⑧～⑩へ上ピボット、上ローラー、上ストッパーを向きや順番に注意して組み込みます。

■上ピボット②、上ローラー①⑧、下ピボット③の取り付け

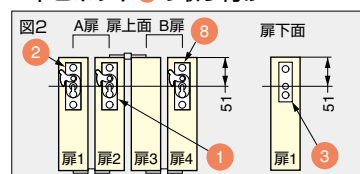


図2のように扉1上面へ上ピボット、下面に下ピボット、扉2、4上面に上ローラーのベースプレートを取り付けます。扉厚に対し中心に取り付けます。

■ヒンジ⑥⑨（抜き差し式）の取り付け

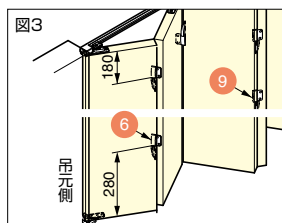
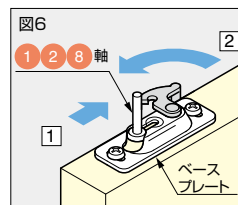
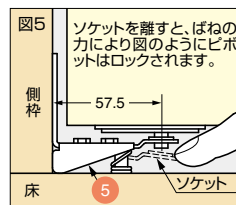
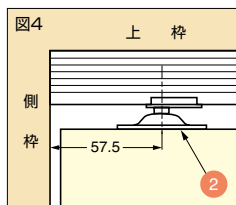


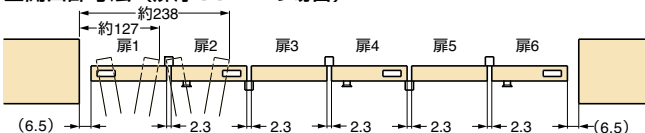
図3の位置に取り付けます。ヒンジは上下に分かれるため軸を上向きにして、軸のある方を吊り元に近い側に取り付けてください。他の扉も同様に取り付けます。
注) 図3は左吊元の場合です。右吊元の場合は勝手違いとなります。

■ブラケット⑤の取り付け、扉の吊り込み



1. 図4のように、上ピボット②の軸が側枠から57.5mmに調整します。
2. 図5のように、ブラケットと上レール⑪～⑬の中心を合わせ、ソケットの中心を側枠から57.5mmに調整します。
3. 図6のように、上ピボット②、上ローラー①⑧の軸をベースプレートに差し込んで固定します。
4. 図5のように、ブラケットのソケットにピボットの軸を差し込んで固定します。

■開口部寸法（扉厚35mmの場合）



輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。